

いただいた御意見（～7月分）
東岡崎駅に近いから、ホテルの周りにいろんなものを作ってほしい
市外から人が来るよう岡崎にしかないもの
カフェとかみんなが休憩できるところ
カフェ、乙川をみられる旅館
土間を生かして、昔の建物の歴史を生かしたもの
ペットもつれてこられるような場所
ホテルのような休憩できるところに隣接したアスレチックパーク
芝生とか、ミニキャンプができるような場所
乙川も活用したアスレチックパークで、インドアとアウトドアを共有
遊んだ後に休める場所がいい
川や外で遊んで、イオンより大きいフードコート
アウトレットみたいにいろんな店が融合したところ
休憩できるところで、外国人に映画などで街を知らせる場所
芝生にキッチンカーを並べておいしいものがいっぱいあるとかわいくて楽しい
川の水を使った水族館的なもの
岡崎市の材料を使った料理体験
もっと現代的なもので岡崎にしかできない八丁味噌を使ったカフェ
こどもがアスレチックなどで遊べる場所を
グランピングみたいな感じで、川があって疲れたら休む場所
大人も子供も遊べて休める場所
岩盤浴のような落ち着ける空間
入った瞬間にソファーなどで景色を楽しめる場所
芝生とか土日とかにキッチンカーを呼んでイベントできるといい
1階にカフェと会議室、2階に勉強する場所
芝生を引いて勉強した人がカフェを利用
コンベンションの整備に賛成。
龍田公園からオトリバーサイドテラスまでの間にトイレがない。整備が進み過去の2倍の人が歩いているので早くやってほしい。
現行計画は立派な計画で、実行されれば活性化し岡崎に誇れるものができると期待していた。
コンベンション整備におおむね賛成。足りないところは加えていくという視点で考えてほしい。
リモートでも会議ができてしまう。甲山会館、市民会館など小さな施設を交通機関でつないで会議することもできる。
立派なホールだと、こどもが入りにくい感じがする。ディズニーランドのような建物だったら、やわらかくて入りやすい雰囲気。
施設と施設の間の交通機関をしっかりとしてほしい。高齢者は困っている。
賑わいが増えるならば実施の方向で賛成。
設計にあたって、設計する人は場所がわかっている人を使ってほしい。使う側のことを考え、使う人の意見を反映して作ってほしい。
河川敷を使って賑わいが出てきているので、河川の遊びとうまくマッチングできるものができるといい。
大きな大会や会議を中央総合公園でやると「汗くさい中でビジネス交流か」と言われる。38万都市にコンベンション施設は欲しい。
会議もビジネスだけでなく、こどもや福祉などの会議も、全国から集まれる場所がないことが残念。
河川清掃で太陽の城跡地に集まっているが場所がなくなる。どこかに子供たちが自主的に参加できるような施設ができるといい。
1000人規模のコンベンションはピンとこない。
りぶらホールでセミナーを主催すると、食事ができないことがネックだった。そういうことがかなうようなホールはいいと思う。
コンベンションの必要性は感じないが豊かに市民が満足できる場所、施設は欲しい。
利用料は町内会で使えるか。お金を使える団体はいいが、町内や商店街、学区など会場費の値段がネックになる。
コンベンションホールは賛成。単体で建てるのではなく、営生川、桜城橋、中央緑道などの運動性が欲しい。
河川敷もあるのでうまく整備できれば賑わいも増えるのではないか。
せっかく作るなら屋根が欲しい。親御さんたちも日陰で休むことができる。夏の日差しの中では大人が参ってしまう。
コンベンションをつくるのは賛成。
竜美丘会館は、駐車場が一番困る。催しのない日でも不足。駅から近くてもみんな車で来るので、考えてほしい。
岡崎の名所旧跡を展示、案内するハブとなる場所。
市民も使える会議室。
イベントをやると駐車場がない。150台駐車できるのはいい。
緊急時の車両避難場所を確保してほしい。
アスナル金山のようにちょっとした飲食施設や成城石井、北野エースやタリーズコーヒー、クリスピークリームドーナツなどお洒落なお店を誘致していただきずっと前から前市長が計画を進めてきて、大手デベロッパーが参入するなど、今度の岡崎市発展に大きく左右する内容だと思う。
市の中心部の求心力もより増す事業だと思う。
豊田市のあいあいのような駅近で充実した子供が遊べるような施設があるといい。
お金と時間をかけて、市だけでなく企業や市民が作ってきたであろうものを突然変える必要がない。
カーボンニュートラルやSDGsの重要性を世界にアピールでき、かつ体験できるアクティビティを備えた総合的な自然科学博物館。乙川を起点に流域全体を見て広い視野で水の循環など自然のあり方や人間との共生を体験する施設。未来を背負って行く子どもたちに環境教育の機会を構築。
屋外の龍田公園、屋内のコンベンションホール。市民のために、いかに活用するかを作りながらも考えるべき。待てば待つほど費用が増えるのでは。
対面で大規模会議の需要が見込めないため、屋外で多目的広場として緑と桜の木を残し、静かで安全、きれいな公園に。
芝生の広場にしてグランピング施設。花火大会には観覧席を有料で設置。時期に応じてフレキシブルに使える広場が欲しい。
老若男女が、安心して過ごせるキレイな場所であって欲しい。
近隣に住んでいるため、跡地がどうなるかによっては、交通量の増加や危険運転、騒音を危惧している。
岡崎市にとって必要な事業。事業者も決まっており、市の勝手な事情で途中で反古にするようなことをすべきでない。
子育て支援、介護福祉関連の機能をもたせるべき
市議会でしっかり揉んで練って決定してきたこと。そのままやるべき。
岡崎城周辺の景観が損なうハコモノはいらない。
跡地は広い芝生広場と野外フィールド。災害時の避難場所に役立ち、防災倉庫からテント張り。家族用も。
岡崎ならではのコンテンツが必要。地域特性や歴史などを最大限に活かした計画。
岡崎市にとって必要なコンベンションホール。

いただいた御意見（～7月分）
何度も調査や、お金、対話、時間とじつりやってきたであろうことをこんな短期間で変えるべきではない。
個人が使う使わないではなく、使う人が居て今後使われる計画があるならしっかり計画通り作るべき。
市長が替わろうと市政の継続性は重要。時間と金を費やし、エリア価値の向上の兆しが見え始めているのにリセットするのは大愚策。
駅近、乙川と岡崎城の景観と自然は近隣市の施設に対し大きなアドバンテージ。ぜひ建設推進しエリアの発展を推進して頂きたい。
創ることにより利益が数百億見込めるなら創らない手はない。駅に近いホールがあれば、コンサートや講演などで活気づく。
駅近でも岡崎市に多くの方々が来るとは思えない。市民も駐車場が多く且つ利便性がなければ集まらない。中止を強く希望。
大手民間事業者が地方の中核都市に進出してくることを最も重要視すべき。今回市が断り撤退させるとなれば、岡崎市にとっては将来的に大きな損失であると認識し早期の凍結解除の判断をすべきである。
QURUWA戦略の総仕上げの最後の拠点整備。さっさと凍結を解除し整備完了を大河ドラマ放映に間に合わせるべき。早期の凍結解除を強く求め
コンベンションを作るあるいは見直す中で市民委員のようなものを作り、意見を入れながら作ってほしい。
結局、アクセサリ的にあれこれつけることで終わるのではないかと、とても心配。
交通の便がよく、子供だけでも行くことができる、疎外感を持っている子供が安心して過ごせる空間、施設
子供が親になった時、自分の子供を連れていける場所
「コンベンション」P F I で受注する企業グループに設備費の80%以上負担される契約にして欲しい
「反対」が「再考」になったことに違和感を覚える。
子供のための施設を壊したから、子供のための施設を作るべき。
コンベンション反対は民意
なぜ、今年いっぱい結論を出さなければならないのか。
市民の生活の安全も大切だが、観光に来たいという魅力的な市にもしてほしい。
児童館、キャンプ用の浴場やちょっとした買い物ができる場所
大会議ができる場所は大切なので、コンベンションホールの建設は賛成
料金が安い施設は利用しにくい
アウトドア向きに、市民が自由に出入りし、軽食ができたトイレが利用できたり、汚れた手足を洗える場所
大会議ができる場所は2 F 以上上階に限定し、1 F は市民が喜んでくれる場所に
子供が安心して過ごせる場所
計画があったから期間をのばせないという問題がわからない。はっきり説明してほしい。
コンベンション施設への建設は中止すべき
市民・住民が主役のまちづくり情報館（テーマ館）を核とした市民活用施設
コンベンション施設中止は民意
市民の意見を聞くことは大事だが、市民の意見だけでは市民の考えうる、想像しうるものしかできない。市民は悪く言うと素人。素人意見だけ集めても本当に永く使われるものではない。
若い人たちが将来にわたって長く使えるような、未来を感じるワクワクする施設
未来の子供達、現在困っている方々を見すえた施設
お金が入るのは良いことだが、住民の住みやすさとの両立は大切
“あの場所”として、何があるとエリアの好循環につながるのかを考えた方がいい。
現在と未来、経済と福祉、それぞれ大切であることを前提に意見を言うべき。企業も市民の一人
どのようにも使える自由度の高い施設
だれもがどんなふうにも活用できることが重要
市民が活用できる、豊かな生活につながる施設（児童館や福祉）
駐車場の解決が大事
この場所であることの意味を考え、市民目線で、市民のためのものを作ってほしい。
市民の暮らしと観光・ビジネスのバランスは、難しい問題だと思う。
計画變更に賛成。市民に発信し、いろいろな意見を聞いてほしい。老若男女、市民の為の場に。
市民のための施設にしてほしい。
市民の生活、福祉を豊かにするための施設をつくり、地域の活性化につなげてほしい
コンベンションホール不要
子供や障がい者の施設は、ここ以外の場所で整備すればよい。この場所は来訪者をおもてなしする場所。
アウトドアを街なかでできる利点をさらに活かす。乙川河川敷で泳ぐ、水遊びをする場所へとしていくことができれば、全国でもオリジナルな街なか空間とすることができるのではないかと。
太陽の城機能を残せる手法の提案については賛同できるので、近くに代替的なものを組入れて前に進めてほしい。
結論を今年度内に出不さなければならないのに、意見収集を続けていくのは形だけのことをしようとしているのではないかと。大きな事業なので早々に結論を出すべきではない。
子供が自由に（1人）来れる場所
「市民のための施設」が大切。コンベンションホールは不要。
美術博物館＋児童美術館（外に向けてもはずかしくないもの）
実施しても、計画變更したことにより割高になる可能性があるのではないかと。中止となったら土地活用もなしに市民に還元もなく、マイナスである。
市民のためと言うが、経済界の人たちは市民ではないのか。
市民の声を聞く試みは良い。
市民の暮らしをよくするためのまちづくりを考え、実施してほしい。
子育て支援や、駐車場など、市民が使えるもの。
花火が見えなくなるような背の高い建物は絶対やめてほしい。
市長の説明は、市政だよりなどに折り込みで入れ、市民に知らせればよい。市長は市民よりそうが、梓は決まっているので聞き置くだけのように感じられ
現行計画のメリットも説明があれば良かった。
こども食堂、福祉、ワークショップ・岡崎公園、くるわをめぐって雨やどりのできる施設。
半年で結論を出すのは無理。PFIは中止。1 から練り直すべし。
基本的には当初の案で進めるべきだが現在の情勢から若干の計画見直しが必要。
福祉は大事だが、財源なくして政策はないと思う。
別の場所のできる話ではなく、あの場所だからできることを話し合うべき。
この場所を「稼ぐ場所（QURUWAを最大限活かす）」にするのか「市民サービスの場所」にするのかで議論は全く違うものになる。
市民の為の施設とは？（ほとんどの人が自分たちが使う施設のことしか考えてない）

いただいた御意見（～7月分）
コンベンションホールの計画は白紙にもしこの場所でなければならない計画にすべき。
子どもや高齢者が安心して利用できる施設なら、すべての世代が利用できる
タウンミーティングをこのテーマで今後も開き、ゆとり議論をしてほしい。
計画を再考すべきだが、現在の案を変更するレベルではない。事業手法も含め、現事業計画、事業者を見直した上で再考が必要。
コンベンションホールはやめた方がよい
市政全般を経営の感覚をもって市民の為になる事であれば市民の合意は不要。
中止し、ロケーションを活かした名所にしてほしい。
何の為に作るのか、具体的な根拠をもとに実行してほしい。
“ここだから”の考えがポイント。「にぎわい」の定義付けが必要。
市民が納得（喜ぶ）するものにして欲しい。まずは市民が住みやすい町にすることが必要。
もうすでに制約があり、変更がきかないということであれば、議論すること自体が税金のムダ。
中核市岡崎市に相応しいシティホテルは必要
集客力のある複合施設
当初の計画をベースに進めるのがよい。
38万人大都市で中心地にコンベンション施設があるというのは当然のこと。市内には大きな企業が多くあり、それらの企業が大規模なセミナーや就職説明会、パーティーレセプションを地元で行えないのは機会損失。
児童館は車をたくさん停められる郊外に作るのが妥当。
街中で野菜を育てたい人のための場所。
若い世代が活用出来る、活用しやすい施設。
結局、前市長と市職員の案がよかったことが分かった。
市民による市民の為の施設が必要。コンベンションホールとは両立しない。
定期借地による安い地代で民間に市有地を貸すことには反対。
コンベンションホール建設を見直すのなら、ホテル建設の計画も見直すべき。
市民（高齢者、子供、障がい者）が使える、集まれる場所
ホテルの建設にも反対。一度白紙に戻し、もっと市民の声を聞いて、市民と共に作り上げてほしい。行政として早急な対応はやめてほしい。
この件は今早急に結論を下すべきでなく、何らかの方法をもって時間を確保し議論を重ねるべき。
インドアのキャンプ場や、ピクニック広場を南公園と太陽の城跡地で同じものを作るのではなく、うまい具合に割り振るのが良い。
児童館のように、子どもの遊び場にしてほしいです。
額田の木を使った木造で土間を仕切りを使って広くも狭くも使えるようにしてほしい。
コンベンションホール大賛成です！パーティーがない時は市民が思い思いに使える様な施設だと良い。（例えばインドア、ピクニックができる場所等）
「土間」は抽象的で分からない。「コンベンション＋ホテル」ではなく、市民の生活に密着した施設であるべき
急いで決めないで「コンベンション＋ホテル」は白紙として市民の意見を聞く工夫をもっとすべき。時間をかけて、丁寧にやって欲しい。
市民が自由に無料で使える施設。
花展をやる場所がほとんどない。竜美丘会館は会場費が高く負担が大きい。
気楽に展示できるところがあればすごい。
空調に花粉が入るという理由で使えないと困る。
会議室を作るなら、広い部屋でパーティションで区切ることができるといい。
バスなど交通の便がよく、他市から人を呼ぶのに都合がいい。優先的に利用したい。
施設はあっても、机が固定だったり、段差があったり、使いにくい施設が多い。
会場スペースを大きくしたり、小さくしたりできる多目的空間があるといい。
多目的で縮小、拡大が自由にできるホールが欲しい。
ホールと市民が楽しめるスペースとのつながりがうまくできるといい。
立体的に自由に展示ができるような空間ができるといい。
ガラス張りで、光がふんだんに入る多目的ホール。
自己負担なしで使える空間がほしい。印刷も無料でできるといい。
多目的ホールは、机椅子が収納可能にして、広い空間を作れるように。
広さは、200畳（約600㎡）あるといい。竜美丘会館のホールは100畳。
材料持ち込みのための、搬入用の乗り入れられる駐車場も必要。
乗り入れをさせてもらって荷物を下ろせるスペースが欲しい。
足の不自由な人もつれていくときにゆとり下せるスペースがほしい。
岡崎では車がないと困るので、駐車場は近辺も含めて確保してほしい。
土間のイメージは素敵。
岡崎をよくするために、岡崎で納税している業者にやらせてほしい。
ここで働く人の採用では、岡崎の人を優先してほしい。
インドアとアウトドアでつながる空間はいい。
犬を連れて入れて、預けられる空間があれば、散歩のついででも入りやすい。
土産店やレストランがあって、その上で展示会場にできないか。市外からの来場者が買い物や食事ができていい。
花展でお水を使うため、床がじゅうたんだと、カビにつながり使えない。
水が使えて、会場費が安く、駐車場、レストランもあって居心地のいい場所。
市内に花の展示場所がないことはとても残念。文化で使える空間を作ってほしい。
出展の際の設営費を補助してほしい。
花展ができる会場が、他市にはあるが岡崎にはない。
ホールで花展ができれば、芸事のまち、日本文化を大事にしている市をPRできる。
大雨の時の避難場所として活用したい。
周辺で働く人（5000人）が、震災時に帰宅困難となった時に避難できる場所。
設計にあたる人は岡崎をよく知っている人にし、使う人の意見を聞いてほしい。
LGBTなど多様性を重視したユニバーサルデザイン。
災害時の避難場所。
臨海公園のように芝を生やせると環境によくていい。
体育館のようなものや大きな広場を作れば人も集まっていい。

いただいた御意見（～7月分）
会議などきっちりしたものだけでなく、市民みんなが楽しめるものにしたい。
ここにしかない、乙川リバーフロントのイベントや屋外と運動した、若者が楽しめる、ほかにはない施設
リバーフロントエリアはお洒落なトーンで統一されているので、それを維持してほしい
子育て支援施設はわざわざここに設けなくても、ほぼ同位置にあるりぶらを子育て世帯向けにリニューアルし、こども図書室内に遊び場を設けたり、実験室やこども美術博物館の派出所スペースなどをつくり充実を図れば充分。
こどもたちが社会人になってから、「これからも岡崎に住みたい」と思えるような若者にとって魅力のある、求心力をもつ街にしておくことのほうが重要。
中途半端なものではなくお金をかけてでも、素敵なものを。
花火を最新の技術で魅せる
チームラボを誘致する
川を臨めるおしゃれで高級なレストラン・カフェ（著名シェフプロデュース）
名古屋に負けないホテル（高層でなくてもこじんまりとした星野リゾートのような特化した魅力のあるもの）
大人が思い切って足を踏み入れたいようなオシャレなもの。子どもがガチャガチャ遊ぶものは混ぜなくても良い。
近隣にないレジャー施設
入場料は高くてもいいので、県内初の施設を
子供科学館やそれに類する科学的な施設